

平成31年度

法人事業報告書

社会福祉法人 一粒の麦の会

1.平成31年度事業・活動の総括

(1)経営理念を明確化

平成 30 年度末に監事から、個人商店的経営からの脱却と、そのための社会福祉法人にふさわしいガバナンスの確立とコンプライアンスの遵守を、との指摘を受けて、下記のとおり新たな経営理念と実践方針を作り、本会の社会福祉法人としての社会的責任と目指すべき姿を明文化しました。

<経営理念>

「小さき者になすことは我になすことなり。」とイエスキリスト様は人が天国に行ける条件を教えられました。

私たち一粒の麦の会は、イエスキリスト様のこの言葉を信じ、ハンディを持つ利用者様が、人間らしく、尊厳をもって、より自立的に、一回きりの人生の日々を、笑顔で生きていくことができるように、真心を込めて支援していきます。

<実践指針>

- 一、私たちは、利用者様お一人お一人の個性やニーズ、ご家族様のご要望に応じたきめ細かで温かいサービスの提供に努めます。
- 二、私たちは福祉医療介護の専門職として、絶えず最新の専門知識と援助技術の習得に励み、資質向上に努めます。
- 三、私たちは、社会福祉法人にふさわしい清廉で安定的な経営と正しい法令遵守に努めます。
- 四、私たちは、法人の人材・設備・サービス・情報などを提供して、佐世保・県北地区の地域福祉の推進と住民の皆様の福祉向上に努めます。

(2)法人組織と財政状況の改善

法人の重要な意思決定と業務の執行は理事会の責任において行われるものです。そのために従来年3回ほどであり法人としての意思決定機関としての機能が十分でなかった理事会を、31年度は年10回開催し、十分な情報の共有と理事全員の理解・合意の上で事業を進めてきました。

また平成24年度以降多年にわたり、極めて厳しい状況が続いていた本会の財政状況は31年度から法人内各事業所での徹底した増収努力と経費節減努力の相乗効果により、夏・冬の賞与も銀行からの新規借入金無しで乗り切り、年度末には黒字決算に転じました。しかしその黒字幅はまだ少額であり、今後よりよいサービス提供ができる体制の充実や、予期せぬ費用負担の発生に備えるためにも、令和2年度はなお一層の増収と経費節減に努めていきます。

・職員処遇の向上

職員が安心して働ける環境を作るために31年度は以下の改善を行いました。

①給与の底上げ

低い給与レベルにいた正規職員・非正規職員の給与・時給を是正しました。

②就業規則の改定

定年を60歳から65歳に延長、65歳からの継続雇用も可とし、65歳で役職定年とするなどの改定をしました。

③新給与表の採用

国家公務員給与表を準用し正規職員全員の号給を明示、全員に辞令を交付しました。

④中途採用者の的確な給与位置づけ

中途採用者は年齢、前歴、資格などを勘案し的確な給与に位置づけることとしました。

⑤職員採用方法の改善

職員採用に当たっては理事長・事務長・配属予定の施設長の3者で面接を行い合議のうえで採否を決することとしました。

⑥退職金制度の不公平是正

一般保険会社の養老保険に加入していた過去4年間に採用された職員を、福祉医療機構の退職共済に加入させ新旧職員間での退職金の著しい不公平を是正しました。

・福祉サービスにおける苦情解決に関する規程を新たに制定

利用者や外部からの苦情に的確に対処するために、福祉サービスにおける苦情解決に関する規程を制定しました。

・公益通報者保護に関する規定を新たに制定

法人・施設内部での法令違反や人権侵害、虐待、パワハラ、セクハラなどを通報した職員がそのことで報復などの不利益を受けることが無いよう保護するために、公益通報者保護に関する規定を制定しました。

・施設の集約化

サクラビル5階の理事長室・本部事務所を令和2年2月に江迎町長坂のサクラビルから、江迎町栗越のパスカに移転しました。

また同ビル3階の相談支援事業所を4月、2階のサクラカンパニーも5月に栗越へ集約化します。併せて賃借中のグループホームアンナも6月中に移転します。

これにより今後サクラビルとアンナの合計年間家賃800万円の支払いが不要となり、かつ施設の一か所集約化により、業務執行状況の可視化、業務の効率化・合理化が促進されることとなりました。

(3)総括

平成31年度は、法人経営トップの交代や組織の近代化と民主化、待ったなしの財政再建に伴う数々の改善など、多くの役職員が一丸となって困難を乗り越え、実行してきた激動の1年でした。

次年度以降も気を緩めることなく、社会福祉法人は何のためにあるのか、を常に確認しながら社会の要請に応えられる一粒の麦の会となれるよう前進していきます。

2.法人役員、評議員、評議員選任・解任委員

(1)役員、評議員、評議員選任・解任委員

(平成31年4月1日現在)

役職	定数	氏名
理事	6	小瀬良明(理事長)、末永さち子、松尾あけみ、小瀬良愛子 朝永誠一郎、平本恵美子
監事	2	田村繁幸、磯野由利子
評議員	7	山口英明、中村泰子、北村誠吾、麓雅興、田舞ユキ子 松尾裕幸、元谷洋見
評議員選任・解任委員	4	日数谷初夫、新立文子、磯野由利子(監事)、浜崎久美(事務長)

(令和2年3月31日現在)

役職	定数	氏名
理事	6	山本主税(理事長)、末永さち子、松尾あけみ、小瀬良愛子 朝永誠一郎、平本恵美子
監事	2	田村繁幸、西司
評議員	8	山口英明、中村泰子、麓雅興、田舞ユキ子、松尾裕幸、元谷洋見 久松健吾、池田茂則
評議員選任・解任委員	4	日数谷初夫、新立文子、田村繁幸(監事)、浜崎久美(事務長)

(2)就任・退任役員

①就任役員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	理事	山本主税	令和1年6月8日	理事長(互選)
就任	監事	西司	令和1年6月8日	
就任	評議員	久松健吾	令和1年11月12日	
就任	評議員	池田茂則	令和1年11月12日	

②退任役員

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	理事	小瀬良明	令和1年6月8日	理事長(退任)
退任	監事	磯野由利子	令和1年6月8日	
退任	評議員	北村誠吾	令和1年10月31日	

(3)就任・退任委員

①就任委員

	役職名	氏名	就任年月日	備考
就任	評議員選任・解任委員	田村繁幸	令和1年6月8日	

②退任委員

	役職名	氏名	退任年月日	備考
退任	評議員選任・解任委員	磯野由利子	令和1年6月8日	

3.理事会開催状況

	議題内容	審議結果
第1回理事会 平成31年4月15日 理事 7名 監事 1名 欠席 1名	第1号議題 監査結果に対する回答について 報告事項 理事会・評議員会の日程について	承認
第2回理事会 令和1年5月20日 理事 7名 監事 1名 欠席 1名	第1号議題 平成30年度決算について 第2号議題 財産目録変更承認について 第3号議題 新経理規程承認について 第4号議題 評議員会への新役員の推薦について 第5号議題 評議員会の開催について 報告事項 監事監査報告、平成30年度事業報告、放課後等デイサービス県監査結果に対する回答、理事長及び業務執行理事職務執行の報告	承認 承認 承認 承認 承認
第3回理事会 令和1年6月8日 理事 6名 監事 2名	第1号議題 理事長互選 第2号議題 業務執行理事の是非について 第3号議題 パスカ住宅管理者の選任について	承認 承認 承認
第4回理事会 令和1年9月18日 理事 6名 監事 2名	第1号議題 定款細則について 第2号議題 就業規則改正について 報告事項 理事長職務執行報告、放課後等デイサービスさくらんぼの廃止届について	承認 承認
第5回理事会 令和1年10月18日 理事 6名 監事 2名	第1号議題 施設長選任について	承認

第6回理事会 令和1年11月22日 理事 6名 監事 2名	第1号議題 評議員候補者の選任について 第2号議題 評議員選任・解任委員会の開催について 第3号議題 評議員選任・解任委員の任期について	承認 承認 承認
第7回理事会 令和1年12月20日 理事 6名 監事 1名	第1号議題 福祉サービスにおける苦情解決に関する 規定の承認について 第2号議題 苦情解決委員の選任について	承認 承認
第8回理事会 令和2年1月24日 理事 5名 監事 2名 欠席 1名	第1号議題 就業規則について 報告事項 理事長職務執行報告	承認
第9回理事会 令和2年2月21日 理事 5名 監事 2名 欠席 1名	第1号議題 理事選任候補者の提案決議について 第2号議題 役員借入金の返済計画承認について 第3号議題 令和2年度事業計画案について 第4号議題 令和2年度予算案について 報告事項 公益通報者保護責任者の選任について	承認 承認 継続 継続
第10回理事会 令和2年2月28日 理事 5名 監事 2名 欠席 1名	第1号議題 令和2年度事業計画案について 第2号議題 令和2年度予算案について	承認 承認

4.評議員会開催状況

	議題内容	審議結果
定時評議員会 令和1年6月8日 評議員 7名 理事 2名 監事 1名 欠席 1名	第1号議題 平成30年度決算について 第2号議題 財産目録変更承認について 第3号議題 理事及び監事の選任について 報告事項 監事監査報告、平成30年度事業報告、放課後等デイサービス県監査結果に対する回答	承認 承認 承認

5.評議員選任・解任委員会開催状況

	議題内容	審議結果
令和1年11月22日 選任解任委員 4名 理事 2名 欠席 なし	第1号議題 久松健吾氏の新評議員候補選任について 第2号議題 池田茂則氏の新評議員候補選任について	承認 承認

6.法人借入金償還状況

借入先	当初借入額	返済月額	借入残額	備考
十八銀行	46,500,000	290,000	17,740,296	ケホーム マリアヨゼフ
日本政策金融公庫	10,000,000	180,000	2,100,000	法人全体運営資金
日本政策金融公庫	20,000,000	360,000	4,140,000	法人全体運営資金
十八銀行	190,000,000	980,000	136,079,027	パスカ
十八銀行	40,000,000	500,000	12,811,000	サクラ別館
親和銀行	53,550,000	235,700	43,206,920	ケアホーム テレサヨハネ
	31,450,000	373,000	25,381,080	神羊館
役員借入	19,000,000	250,000	19,000,000	法人全体運営資金
計	410,500,000	3,168,070	260,458,323	

7.職員人事異動状況

(平成31年度中)

	新規採用	非常勤→常勤	退職	増減
人数	5 (1)	3 (-3)	5 (2)	3 (-4)

※()内は非常勤数

8.職員配置状況

(令和2年3月31日現在)

	常勤	非常勤	合計
人数	59	20	79

平成31年度

施設事業報告書

社会福祉法人 一粒の麦の会

種別	施設名称	ページ
指定障害福祉サービス事業所	サクラ	2
就労継続支援 B 型事業所	サクラ.Co	6
指定共同生活援助事業所	ケアホーム サン	9
放課後等デイサービス	チェリー	12
高齢者複合施設	パスカ	16
相談支援事業所	サクラ	19
収益事業	神羊館	21

指定障害福祉サービス事業所 サクラ

(生活介護事業・就労継続支援事業 B 型、多機能型)

(1) 概要

11月に佐世保市による実地指導監査を受け、不足しているもの、又十分に満たされているものの判断をすることが出来、利用者への手厚い支援が出来るようになりました。

生活介護は、9月より『重度障害者支援加算』を行なうようにし、4名の加算対象者と2名の生活支援員により、大幅な加算が取れるようになってきました。

利用者は、70%近くが、区分 5・6 の重度障害者であり、手厚い支援が必要になっています。大きな怪我や病気がなかったことが一番の成果です。

就労継続支援 B 型は、31年度より工賃の平均が上がり、基本報酬が一段階アップしました。昨今問題になっているウイルス感染予防のためのマスク作りを新しく始めました。

また、11月より職員移動があり、就労 B に男性支援員が入ったことで、洗車作業など、外での活動が増えてきて、工賃アップにもつながっています。

両事業では8月より『福祉専門職員支援加算』の加算を行ないました。また、2月には管理者の交代がありましたが、特に活動や支援への大きな変化はなく、おおむね落ち着いて過ごせていました。

(2) 利用者状況

①登録者数

生活介護

	居住地	請求市町村
佐世保市	14名	9名
平戸市	1名	3名
松浦市	1名	2名
佐々町	0	0
長崎市	0	1名
京都市	0	1名
合計	16名	16名

就労継続支援 B 型

	居住地	請求市町村
佐世保市	9名	10名
平戸市	1名	1名
松浦市	0	0
佐々町	1名	0
合計	11名	11名

②年間退所・入所状況

生活介護

退所日	性別	退所先
11月30日	男性	介護保険利用

就労継続支援B型

退所日	性別	退所先	入所日	性別	支援機関
12月31日	男性	一般就労	5月8日	女性	平戸市
1月25日	女性	自宅			

③区分別利用者数

生活介護

	延人数	一日平均
無し	0	0
1	0	0
2	0	0
3	366	1
4	937	2.6
5	1,230	3.4
6	1,823	5.0
合計	4,356	11.9

就労継続支援B型

	延人数	一日平均
無し	267	0.9
1	78	0.2
2	301	1.0
3	309	1.0
4	993	3.2
5	39	0.1
6	270	0.9
合計	4,356	7.3

(3)利用者支援

①生活介護事業

ア 利用者対応

- ・重度障害者支援加算により、重度障害者加算対象者に強度行動障害支援者が日課スケジュールを作ることで本人の特性に合わせ、手厚い支援を行なうことが出来るようになりました。特に、午後からは近くの公園に行き、体を使うことにより昼夜逆転を防ぎ、心身を健康に保つことが出来ました。
- ・入浴は車いす利用者の安全を優先し、ストレッチャー浴を行ない、週に三回の入浴支援を行ないました。

イ 軽運動

- ・朝礼時にラジオ体操を実施し、また、気候が良い時は外気浴を兼ねて散歩を行ない、リフレッシュをしました。

- ・体操時にはそれぞれの利用者にマンツーマンで付き、一人では出来ないストレッチなどの支援を行ないました。

ウ 創作的活動

- ・毎月の壁面づくりは立体的・平面的に工夫をし、貼り絵や折り紙など各利用者が楽しんで製作できるような環境と声掛けを行ない、完成することで、達成感が得られました。

エ 生産活動

- ・パンの配達を行なうことで、社会参加を喜びとし、また、工賃に繋げることが出来ました。

オ 通所支援

- ・自宅から通所されている方への連絡として、連絡ノートを使用し、ご家族との関係性を密に行ないました。
- ・送迎場所の特性や、身体が不自由な方にはそれぞれの障害にあった公用車での送迎を行ない、無理なく通所が出来るように支援をしました。

カ 行事・社会活動支援

- ・レストランで外食をし、マナーを学び又、普段と違う雰囲気を楽しむことで次回への楽しみになっていました。

②就労継続支援 B 型

ア 生産活動

- ・給食の野菜の買い物や仕分けをすることで、安定した収入が得られました。
- ・今までの『証紙重ね付け』や『洗車』『野菜の仕分け作業』のほかに、マスク作りに着手しました。

イ 相談

- ・昼休みやモニタリングの時に困っていることや要望などを聞き、すぐに対応が出来ました。

ウ 通所支援

- ・隣にある老人施設からの送迎には運動を兼ねてなるべく徒歩で行ないました。
- ・安定した通所が出来ない方には、定期的に電話をし、通所を促しました。また、安心して送迎が出来るように突然の通所を希望されてもすぐに対応が出来ました。

(4)生産活動売上と平均工賃

①生活介護

生産活動内容	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比
自動販売機	198,191	202,164	-3,973
野菜売上	46,858	78,431	-31,573
パン販売	120,000	120,000	0
その他軽作業	152,385	151,801	584
合計	517,434	552,396	-34,962
平均工賃(月額)	34,507	30,371	4,136

②就労継続支援B型

生産活動内容	令和元年度実績	平成30年度実績	前年比
バスカ業務	45,500	48,500	-3,000
エミネント	47,543	117,928	-70,385
給食配膳・野菜仕分	480,000	320,000	160,000
その他軽作業	339,449	32,439	307,010
合計	912,492	518,867	393,625
平均工賃(月額)	56,363	40,308	16,055

就労継続支援B型事業所 サクラ.Co

(1) 概要

”楽しく稼げるカンパニー”を合言葉に、1年間運営してきました。

平成31年度は、定員20名に対し、利用登録者数23名にて約11か月間変動なく、令和2年3月に新卒者1名の新規利用、3月末に1名の退所者でした。年間を通して、1日平平均16名と1昨年度と変わらない状況でした。原因として、8月の台風の影響があり、数回の送迎者運行中止による利用者の減少、9月から1名、他法人を週3日利用されるようになった事や、前年度月平均16日利用されていた方が、情緒不安定により月平均4日へ減少した事が大きいと考えられます。

授産面では、平成30年度総売り上げ9,528,159円に対し平成31年度総売り上げ9,119,266円と408,893円減収となりました。減収の原因として農業部門の水稻があげられ、降雨量不足、除草散布不十分と、害虫のウンカ流行による収量減が影響し、水稻部門での売上げ前年度比約700,000円の減収が大きな原因でした。

パン工房は、前年比250,000円プラスと冬の一大イベント、クリスマスコンサートが無かったにも関わらず、職員の協力により、近隣地域のフリーマーケット(田平マルシェ・松浦マルシェ・佐々マルシェ等)への参加が増収に繋がったと思います。

利用者工賃については、前年度支払総額3,748,085円に対し、31年度3,988,920円と前年度比240,835円プラスではあったものの、30年度1人月額平均15,298円から31年度は14,719円と、579円のマイナスでした。

就労継続支援B型の報酬単価は、利用者1人あたりの工賃支払い額月平均額で決定するので、令和2年度以降は、平均20,000円を目標にし、より安定した収入が得られ、工賃アップに繋ぐべく、農業部門での水稻管理の徹底、パン用小麦の商品化・販売強化、パン工房・店舗の経営の見直しに力を入れ目標達成を目指します。

(2) 利用者の状況

登録者数		令和2年3月31日現在	
請求市町村	男	女	計
佐世保市	10名	6名	16名
平戸市	4名		4名
松浦市	1名	1名	2名
佐々町	2名		2名
計	17名	7名	24名

年間入所・退所者

入所日	性別	請求市町村
R2.3.2	男性	佐世保市

退所日	性別	請求市町村
R2.3.31	女性	佐世保市

年間利用日数(開所日数) のべ人数

4月(26)	5月(28)	6月(27)	7月(27)	8月(27)	9月(25)	
410	439	436	444	363	409	
10月(27)	11月(26)	12月(25)	1月(24)	2月(25)	3月(26)	合計 (313)
442	445	399	366	375	438	4,966

(3) 授産売上・必要経費

年間総売上		9,119,266	
カンパニー		パン工房	
部門	年間売上	部門	年間売上
清掃	1,770,444	現金売上(店舗含む)	4,309,344
農業	1,010,310	法人給食	581,590
車両	576,300	近隣店舗配達	350,562
その他	30,658	愛光保育園	330,194
		その他	159,864
計	3,387,712	計	5,731,554

必要経費		5,956,923	
カンパニー		パン工房	
部門	金額	部門	金額
農業機械 (トラクター・草刈り機等)	561,536	中野パン教室材料費	2,101,649
モノタロウ(清掃用品他)	311,822	配達料・リース料・ メンテ等	752,916
肥料・農薬・資材等	283,911	ガス・水道	397,497
培養土・粃乾燥代等	211,327	現金購入 (その他材料等)	392,731
その他	109,770	包材等	304,276
		塩・砂糖・醤油・ドレ等	228,193
		その他	301,295
計	1,478,366	計	4,478,557

(4) 利用者工賃

年間工賃支払い		3,988,920	
カンパニー(18名)		パン工房(6名)	
工賃	2,097,650	工賃	1,251,270
賞与	455,000	賞与	185,000
計	2,552,650	計	1,436,270

指定共同生活援助事業所 ケアホームサン

(1) 概要

利用者の高齢化及び重度化に伴い、ホームで日中を過ごされるケース(日中支援)が増えました。利用者のニーズとして、定期受診以外の通院、各種訪問系サービス、後見制度、他法人事業所の利用等が増え、多様な社会資源との連携が加速した期間となりました。このようなニーズに対応すべく、支援体制の拡充を進めましたが、医療 介護 福祉分野に精通した人材確保には至らず、サービスの質を高めていく過程には到達しませんでした。以上の状況を鑑み、現状の『介護包括型』の枠組みでサービス提供を継続するのか、将来的に『日中支援型』への移行を念頭において施設整備を進めていくべきか、転換期に入ってきたと感じています。

また、短期入所(空床型)のニーズは高まっており、年末迄は定期的な受け入れを行いました。今後はニーズを分析し、事業所の現状を踏まえた利用サービスを提供していきたいと考えています。

一方で生活全般において支援を必要とされる重度利用者の支援充内容を深めるべく、令和1年9月より『重度障害者支援加算』を開始しました。当事業所では、本加算を取得する為に3年前より準備を進め、加算取得要件の『強度行動障害基礎研修』等を受講した職員が一定数を満たした事で実現しました。これにより 従来提供してきたサービスに加算報酬という付加価値が加わったとともに、重度障害者が地域生活を行う上で、支援者の質と量を高めていくうえで大変貴重な財源となり、サービス提供の継続に繋がると考えています。

また同年9月に佐世保市指導監査課の実施指導を受け、6つの指摘事項を受けた際事業所及び法人内において協議し、速やかに改善を行いました。続いて11月に事業所の更新を終え、平成31年度の事業所運営を無事に終えることが出来ました。

(2) 重点目標に対する取り組み

① コンプライアンスとガバナンスの事業所内部への周知徹底

・6月より法人が新体制に移行しました。新理事長が掲げられた『コンプライアンス』『ガバナンス』の周知徹底が組織に浸透し、当事業所においても職員会議で毎回『法令順守』と『指示命令系統の統一』の重要性を説明してきた結果、職員各位が自身の職責を自覚し、事故の予防に繋がったと考えています。
また 利用者支援に専念できる環境となり、社会福祉法人事業所としての本来あるべき姿に近づいたと感じました。

② 個別支援計画の作成 立案

・これまで人員配置がままならず サービス管理責任者が他事業所と兼任でしたが、11月より専任となりました。

その結果 職員会議で利用者に関する事例検討を行う際に、職員各位が個別支援計画に記載してある内容を把握し、現実には直面している課題や問題に関して話し合い、合意形成に至る過程を経験する事が出来ました。今後は職員一人一人が貴重な戦力となれるよう、環境整備を継続していく予定です。

③ 定員と稼働率

・法人内外の相談支援事業所及び地域内の共同生活援助事業と連携し、定員24名を前期末から維持出来るように工夫しました。具体的には前期末から体験利用をすすめ、22名だった利用者が5月以降は24名になりました。

・また 週末定期的に自宅へ帰省する利用者が複数名いた為、短期入所(空床型)を受け付け、居室の稼働率向上に繋がりました。

今後は人員配置にゆとりがある日に短期入所を受入れが出来るように、ニーズと条件(空床)のマッチングを行い、利用される保護者様のご希望に添えるよう整備をすすめたいと考えています。

(3)利用者支援

① 生活支援

・ADLはほぼ自立している利用者から、週末は外出等を楽しみたいという意向が多数ある一方で、自室の整理整頓が不得手な利用者がかかる割合で存在している、という状況を把握していました。そこで、余暇の過ごし方として、週末の外出を条件と自室の整理整頓を構造化できるように調整しました。結果として この支援はモニタリング時に利用者様の高評価に繋がりました。

② 日中支援

・利用者24名中17名は、通所事業所の受給資格が当該月日数でなく、当事業所で日中支援を行っています。該当日は通所を休み、通院や買い物 公的機関への手続きを済ませる他、ホーム内でゆっくりと過ごされる等、少しずつ利用サービスに選択性をもたせています。今後 利用者の高齢化に伴う問題(現在の法律では、65歳からは障害福祉サービスよりも介護保険サービスが優先される為、生活介護サービスの利用が出来ない)と、通所事業所との利用調整の兼ね合いから、日中支援の利用機会が増加する事が予想されます。

(4)特記事項

③ マリア ヨゼフ

現在 利用者の平均区分 5.3 と非常に高く、佐世保市消防局より、消防設置基準をランクアップするか、利用者を他ホームと入れ替えるか、選択を求められています。今春に 利用者の入れ替えを、1年間で段階的に実施していく事を経過報告しています。

- ・利用者の高齢化に伴い、トイレの増設が求められています。
- ・非常時に使用出来る動力源の準備が必要です。

④ アンナ

- ・令和2年6月末で退去する予定です。

⑤ テレサ ヨハネ

- ・行動障害の方が利用しており、特性に配慮したレイアウトを予定しています

放課後等デイサービス事業所 チェリー

(1) 概要

児童発達支援事業においては、過去 5 年間の利用実績がなく、今後の利用も見込みがありません。また、事業を行う上で職員配置の要件もあるため、人件費削減の観点から令和 2 年 3 月 31 日をもって廃止としました。放課後等デイサービス事業については、定員 10 名に対し、登録 16 名となっています。昨年度より長崎県障害福祉課より定員の順守の指導を受けていることより、保護者説明会を開催し、定員順守の理解を得、計画的な利用調整を実施しています。定員超過の場合は各自治体の地域生活支援事業(日中一時支援事業)の利用にて対応するよう令和 2 年 4 月 1 日より各自治体の指定を取得し事業開始をします。

(2) 重点目標に対する取り組み

①療育について

重度の知的障害児(A1)が多数を占めるため、強度行動障害支援方法を用いて子供たちが理解しやすく、ストレスの少ない環境づくりを注意して行っています。また子供たちの成長に合わせて支援も変化していくため、毎日のミーティングやケース会議をもとに情報の共有を行いながら支援につなげています。ただ、重度の利用者が多く、自傷・他害や多動もありマンツーマン対応が必要で、日常生活動作(排泄、食事、更衣等)の基本的なことの反復指導にも時間を要するため人手がかかっています。

②職員における資質向上について

利用者の療育や安全を確保する観点から、職員の資質向上の為、強度行動障害支援の外部研修に参加してサービスの質の向上に努めています。今後も継続して積極的に内部・外部研修を活用し、職員の資質やサービスの質の向上に努めていきます。

③事業所の設備について

指導訓練室(利用所が過ごす場所)のフロー(コンクリート床)を、転倒や自傷に対しての安全面や冬場の底冷えへの環境改善の観点からフロー絨毯にて過ごしやすい環境づくりを実施しました。また、廊下の掲示板なども工夫し、ご家族への情報発信の場として活用してくように努めています。

(3)年間利用状況(利用定員 10名)

月	登録人数	利用延人数	稼働日数	稼働率
4月	19名	256名	26日	98%
5月	19名	231名	27日	85%
6月	19名	217名	25日	86%
7月	19名	257名	27日	95%
8月	18名	252名	27日	93%
9月	18名	206名	25日	82%
10月	18名	206名	27日	76%
11月	18名	194名	26日	74%
12月	18名	210名	24日	87%
1月	18名	186名	24日	77%
2月	18名	211名	25日	84%
3月	18名	221名	26日	85%

*4月・7月・8月 定員超過日(多数)

*1月・3月 インフルエンザ流行にて利用自粛

登録者内訳(小学生:5名 中学生:10名 高校生:3名)

地域	利用者数	療育手帳	指標該当の有無
佐世保	12名	A1:9名 A2:2名 B1:1名	有:7名 無:5名
平戸	2名	A1:1名 A2:1名	有:1名 無:1名
松浦	3名	A1:2名 無:1名	有:2名 無:1名
佐々	1名	A1:1名	無:1名

(4) 行事・集会年間等

月	合同行事	施設行事	会議・研修	その他
4月	8 黙想会ミサ 27 パスカ交流	外出支援・社会 体験 誕生会 避難訓練	18.24 モニタリング(2名) 19 職員会議	春休み

5月		外出支援・社会 体験 誕生会	11.15.31 モニタリング(3 名) 17.28 ケース会議(6名) 24 職員会議	
6月		外出支援	1.2 特別支援養育支援 員養成講座(長崎)1名 参加 8.11 モニタリング(2名) 7.20 ケース会議(4名) 20 職員会議	
7月	31 海水浴	外出支援・社会 体験 誕生会	6.8.9.10.20 モニタリング (6名) 9 法人研修 11 ケース会議(2名) 11 職員会議	夏休み
8月	2 パスカ交流 7 納涼祭 24 千灯ろう祭り 30 そうめん流し	外出支援・社会 体験 誕生会	22.23 強度行動障害基 礎研修(諫早)1名参加 26.31 モニタリング(2名)	夏休み
9月	7 ふれあいコン サート 16 パスカ敬老 訪問	外出支援・社会 体験 避難訓練	10.30 ケース会議(6名) 20 職員会議・研修報告 21.27 モニタリング(3名)	5 職員健康診 断
10月	14 運動会	外出支援・社会 体験 誕生会	7.8 地域療育短期実習 (諫早)1名参加 15 虐待防止セミナー (佐々) 2名参加 17.25 モニタリング(2名) 22.23 強度行動障害基 礎研修(諫早)1名参加 24 職員会議・研修報告 28 ケース会議(2名) 29.30 強度行動障害実 践研修(諫早)1名参加 28 ケース会議(2名)	管理者・児発管 変更

11月		外出支援・社会 体験 誕生会	8.13 モニタリング(2名) 18 職員会議 28.29 地域療育従事者 研修会応用編(諫早)1 名参加	
12月	25 クリスマスマサ	外出支援	3 担当者会議(志佐小) 4.19 ケース会議(4名) 11.16 法人研修 12 職員会議・研修報告	管理者変更 冬休み
1月	4 初詣	外出支援・社会 体験 誕生会	11.16.24.25 モニタリング (6名) 30 職員会議・研修報告 31 ケース会議(6名)	冬休み
2月		外出支援 誕生会	10 パワハラ研修会 17.18 障害児相談支援 研修会(諫早)1名参加 20 職員会議 19.25.29 モニタリング(3 名) 28.29 ケース会議(2名)	23.25 保護者 説明会
3月		誕生会 お別れ会 (卒業生)	7.19 モニタリング(2名) 26 職員会議 30 ケース会議(2名)	4～臨時休校 (コロナ) 春休み 利用終了2名

高齢者支援複合施設 パスカ

(サービス付き高齢者向け住宅・小規模多機能型居宅介護併設型)

(1) 概要

小規模多機能型居宅介護登録者様やサービス付き高齢者向け住宅入居者様の高齢化が進み、それに比例するように身体機能の低下や認知症の進行もあり、介護度が上がってきている状況です。健康面では、体調不良や転倒などでの緊急入院や、持病の悪化による入院がありました。日々の生活の中でのバイタルチェックや問診、普段の様子と違いがないかなど注意しながら観察し、早期発見、早期対応に努めました。

(2) 年間新規登録・解除状況

新規(登録・入居)	性別	種類	退所(解除・退去)	性別	種類
R1.12.1	男性	小規模のみ	R1.9.18	男性	小規模のみ
R2.3.1	女性	小規模のみ	R2.2.7	女性	併用

(3) 介護度の変化

比較月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均
R1.4.1	1	6	7	3	7	1	3	1.98
R2.3.1	1	3	5	4	8	3	4	2.51

小規模多機能型居宅介護登録定員：28名

(4) 利用者支援

① 生活支援

- ・時節ごとに事業所にて催しを行い、利用者様方へご紹介して、参加して頂いています。その際、気分が乗られなかったり、人が沢山集まる場を好まれない利用者様に関しては、無理にお誘いをしないようにしました。
- ・利用者様の誕生日には、本人様が食べたいものを聞き取って提供し、他利用者様や職員と一緒に祝いをしています。
- ・1年に1度利用者様が叶えたいこと(身体状況や経済状況等を考慮して実現可能なこと。例えば、長崎の帆船祭りを見に行きたい、等)を叶える日を提供する計画を立てていましたが、

インフルエンザやコロナウイルス感染対策の為、中止となっています。状況が改善し次第、実行していきたいと思えます。

- ・地域の方々との交流を深める為、日々の活動の中で雑巾作りを行い、近隣の幼稚園や小学校などを対象に利用者様と共に訪問し、寄贈しています。そういった活動を通じて繋がりができ、運動会やお遊戯会へご招待して頂けるようになり、見学に行かせて頂いています。
- ・身体拘束、虐待に関する職員研修を事業所内研修にて実施し、支援業務内にて身体拘束、虐待がないように取り組んでいます。

② 食事

- ・利用者様の状態に合わせた食事の提供(アレルギーやきざみ食対応など)を行い、摂取量を把握しています。摂取量が少ない場合には利用者様本人に聞き取りを行い、対応可能な内容であれば出来る限り対応しています。
- ・身体状況を踏まえ、食事摂取に関して、全面的に支援が必要な利用者様や水分にとろみを付けて提供する利用者様に対しての専門的な知識と技術を学ぶ機会を設けて支援業務に当たっています。(近隣医療機関よりSTを招いての講義)

③ 健康管理

- ・毎日の健康チェック(バイタル測定・問診・様子観察など)を行い、異常時には看護職員や主治医、ご家族様へ速やかに報告し、早期の対応を心がけています。
- ・毎食前の口腔体操の実施や口腔ケアを行っており、嚥下咀嚼機能の維持・向上に努めています。
- ・利用者様やご家族様に主治医への定期受診を促し、主治医へは職員が同行したり、文章にて、日常生活の様子やバイタルなどの情報提供を行い、医療との連携に努めています。
- ・高齢者が発病(症)しやすい病気や感染症拡大防止に関する事業所内研修を実施し、日々の利用者様の観察や業務内において留意しながら行っていく内容の共有化を図っています。
- ・インフルエンザやコロナウイルス等感染症予防の対策の為、一年を通じて、次亜塩素酸水の噴霧や手指消毒を行っています。

④ 建物設備

- ・建物内外の設備に対して点検を行い、必要に応じて修繕や導入を行っています。(事業所駐車場の平坦化。スプリンクラーの基盤不具合の為、交換。事務所や各居室のエアコンの洗浄。など)

(5) 年間行事報告(令和元年度)

月	事業所行事等	支援関係・外部行事・その他
4	避難訓練、お花見、 家族会(バーベキュー)、ミサ	理事長訓示、運営推進会議、防災訓練 職員会議・勉強会
5	母の日、ミサ、魚釣り	防災訓練、職員会議・勉強会
6	避難訓練、父の日、レク大会、ミサ	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会
7	七夕、ミサ	防災訓練、職員会議・勉強会、法人研修
8	ミサ、	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会、 納涼祭
9	敬老会、ミサ、	健康診断、防災訓練、職員会議・勉強会、 ふれあいコンサート
10	ミサ、	運営推進会議、地域福祉施設合同のレク大会 防災訓練、職員会議・勉強会
11	避難訓練、収穫祭、ミサ、 地域小学校学習発表会参加	インフルエンザ予防接種、地域文化祭へ参加 消防立入検査、職員会議・勉強会
12	クリスマス会、ミサ	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会、 法人研修
1	新年会	防災訓練、職員会議・勉強会
2	節分	運営推進会議、防災訓練、職員会議・勉強会
3	避難訓練、ひな祭り	健康診断、防災訓練、職員会議・勉強会

相談支援事業所サクラ 事業報告書

(1) 概要

平成 31 年度は”網目の漏れを無くす”をスローガンにおき、毎月、月初に目標件数を計画し、翌月初に目標に対する前月実績報告、達成できなかった場合の原因究明を継続して行いました。

結果、平成 30 年度事業収益 2,377,730 円→平成 31 年度事業収益 3,990,410 円の増収となりました。

今年度も継続して行っていくとともに、情報収集・スキルアップ・増収(加算)を目的とした各種研修への参加も行っていく予定です。

(2) 相談実績

実 績							
計画作成		計画相談		64 件			
		障害児相談		71 件			
モニタリング		計画相談		93 件			
		障害児相談		41 件			
支援方法(のべ数)							
訪問相談	来所相談	同行支援	電話相談	担当者会議	関係機関調整	その他	合計
194	46	32	62	32	14		380
支援内容(のべ数)							
支援方法		件数	支援方法		件数		
福祉サービス利用に関する相談		357	家計、経済に関する支援		1		
社会資源の活用に関する支援		3	生活技術に関する支援				
障害や病状の理解に関する支援			就労に関する支援		1		
健康・医療に関する支援		7	社会参加に関する支援				
不安の解消・情緒安定に関する支援		6	余暇活動に関する支援				
保育・教育に関する支援		4	権利擁護に関する支援				
家族関係・人間関係に関する支援			その他福祉に関する支援				
			合 計		379		

障害別利用者(実人数)							
	知的	身体	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
障害者	129	46	48	4			
障害児	43	18	1	37			
						合計	326

(3) 研修報告

月 日	研修名	会場	備考
R1.10.2	長崎県精神障害者地域移行 地域定着支援研修会	ながさき看護センター	加算対象
R1.10.10	長崎県医療的ケア児コーディネーター 養成研修(スキルアップ研修)	みさかえの園あゆみの家	10日、11日(2日間)
R1.11.27	生計困難者レスキュー事業 CSWソーシャルワーク実践研修	長崎県社協	
R2.2.17	長崎県障害児相談支援研修	ながさき看護センター	17日、18日(2日間)

収益事業 神羊館

(1) 概要

賃貸住宅（社員寮・アパート）

1階 3室

2階 3室 計6室

(2) 年度末状況

2階 201 親和銀行契約 1人入居中

1階 102 社員寮 1人入居中

他 4室 空室

(3) 年間推移

年間利用状況

月	利用戸数	内訳
4月	6	生活困窮者事業(1)・親和銀行(1)・社員寮(1) 個人(3)
5月	6	〃
6月	6	〃
7月	6	〃
8月	6	〃
9月	6	〃
10月	6	〃
11月	5 203 退居	生活困窮者事業(1)・親和銀行(1)・社員寮(1) 個人(2)
12月	5	〃
1月	5	〃
2月	4 202 退居	生活困窮者事業(1)・親和銀行(1)・社員寮(1) 個人(1)
3月	3 103 退居	生活困窮者事業(1)・親和銀行(1)・社員寮(1)
4月	2 101生活困窮者 事業 休所	親和銀行(1)・社員寮(1)

(4) 今後の事業課題

1 賃貸事業の継続?

2 各部屋の利用形態(法人書庫倉庫・施設居室 等)

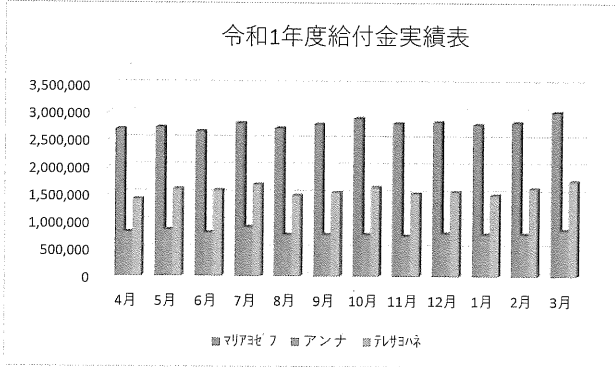
利用者別年間給付金実績

①-1

給付金	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	個人別合計金額
マリアビエ	2,682,630	2,718,530	2,639,460	2,794,380	2,705,060	2,779,960	2,885,270	2,792,180	2,813,930	2,776,060	2,808,420	3,002,100	33,397,980
アンナ	804,190	849,630	789,670	894,980	756,780	762,170	762,170	739,130	781,900	768,130	770,220	839,700	9,518,670
レゾハネ	1,403,780	1,594,460	1,567,700	1,672,640	1,472,970	1,527,890	1,619,750	1,513,460	1,545,250	1,485,120	1,602,580	1,735,840	18,741,440
月度合計	4,890,600	5,162,620	4,996,830	5,362,000	4,934,810	5,070,020	5,267,190	5,044,770	5,141,080	5,029,310	5,181,220	5,577,640	61,658,090
昨年比	99.3	110.9	112.6	119.6	108.3	109.9	110.3	103.2	105.8	107.6	115.4	109.5	105.9

令和1年度給付金実績表

①-2



H31年度年間稼働実績一覧

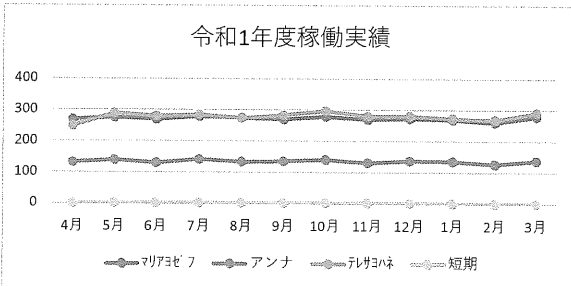
②-1

※延日数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
マリアビエ	270	276	270	279	275	270	279	270	273	270	261	279	272.7
アンナ	133	140	131	142	134	135	141	131	138	136	127	138	135.5
レゾハネ	249	290	280	284	274	283	298	280	281	273	269	292	279.4
短期	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0	1.4
小計	653	707	683	707	685	690	720	683	694	680	657	709	689.0
稼働率	90.7	95.0	94.9	95.0	92.1	95.8	96.8	94.9	93.3	91.4	94.4	95.3	94.1

令和1年度稼働実績

②-2



H31年度年間通院実績一覧

③-1

月別年数	個別受診	緊急受診	代理受診
4月	23	2	3
5月	41	4	0
6月	24	4	1
7月	34	0	2
8月	25	2	1
9月	31	5	1
10月	22	10	4
11月	21	4	2
12月	35	2	4
1月	32	6	6
2月	27	1	4
3月	29	5	3
合計	344	45	31

③-2

H31年度通院実績

